

Ⅱ 大学決議機関

教授会

1. 構成員

<学 長>井部俊子

<教 授>伊藤和弘、菱田治子、中山和弘（サバティカルリーブのため9月～1月は欠席）、菱沼典子、松谷美和子、及川郁子（サバティカルリーブのため9月～1月は欠席）、堀内成子、小松浩子、亀井智子、萱間真美、麻原きよみ、田代順子、柳井晴夫、垣添忠生、山田雅子、森明子、小口江美子、福井次矢、佐藤エキ子、上田憲明

<准教授>深谷計子、廣瀬清人、菊田文夫、大久保暢子（2010年2月より研修のため欠席）、佐居由美、平林優子、小野智子、有森直子、江藤宏美、片岡弥恵子、飯岡由紀子、卯野木健、外崎明子（2009年12月まで）、梶井文子、瀬戸屋希、大森純子、吉田千文

<構成員以外の出席者>山口喜義事務局長

<書記>教務課 高橋昌子課長

<議事録確認者>松谷美和子教授、江藤宏美准教授

2. 役割・職務（学則第40条）

教授会は次の事項を審議する。

- (1) 学則に関する事項
- (2) 教育課程に関する事項
- (3) 研究および教授に関する事項
- (4) 学生の入学、退学、転入学、休学、編入学、再入学、卒業および賞罰に関する事項
- (5) その他学長が諮問する事項

3. 活動内容

例年会（11回）、臨時会（3回）を開催し、上記の審議事項の他に、以下について審議を行った。

(1) 名誉学士号、名誉博士号、Distinguished Honorary Professor の規程を整備し、授与者を決定した。

(2) 新たに下記3校の海外大学との学術交流協定締結を決定した。

・ School of Nursing, Muhimbili University of Health and Allied Sciences（タンザニア）

・ 高雄医学大学護理学院（台湾）

・ St. Luke's College of Nursing, Trinity University of Asia（フィリピン）

(3) アドミッションポリシーを明確にし、募集要項に掲載した。

(4) 創立90周年記念行事を行うことが理事会で決定され、委員会を組織し、実施した。

(5) 篤志家からの寄付により、入試成績優秀者育英制度を設け、推薦入学者2名、学部一般入学者8名に、奨学金を給付することを決定した。

(6) 「博士号取得に対する支援」の終了の見通しが立ったことに伴い、本学助教の大学院進学について、社会人入学を容認することを決定した。

(7) 下記規程の作成または改訂を行った。

名誉博士規程、危機管理規程、Distinguished Honorary Professor 規程、名誉学士規程、未来の助産師基金規程、未来の助産師基金細則、入学試験成績優秀者育英制度に関する規程、入試特待生細則、名誉教授の称号授与規程、小澤道子奨学金規則、臨床教員規程

4. 課題

(1) 新入生の学生数増加に伴い、教室等の使用や整備上の問題点が挙げられているが、有効な方法が見つかっていない。

(2) 成人看護学（慢性）の教授人事が継続審議となっている。

(3) 教授会メンバーが、教授、准教授を合わせて37名となり、会議室では手狭となっている。

研究科委員会

1. 構成員

伊藤和弘、廣瀬清人、中山和弘、柳井晴夫、垣添忠生、菱沼典子、松谷美和子、井部俊子、田代順子、及川郁子、小松浩子、亀井智子、堀内成子、森明子、萱間真美、麻原きよみ、山田雅子（教務課 森川雪絵）

2. 役割・職務

学籍、カリキュラム、カリキュラム運営、入試、論文審査、最終試験、学位授与等、研究科にかかわる一切の件を企画、審議、決定し、研究科の円滑な運営を図り、大学院教育の質の向上を目指す。

3. 活動内容

定例委員会（11回）、臨時委員会（8回）を開催し、上記の職務を遂行した。

4. 課題

修士課程カリキュラムについて、「研究法」を必修2単位のほかに選択2単位を増加することを決定したが、学則改定は次年度に持ち越しとなった。また、ホルツマー客員教授が担当していたが、次年度来日困難となり、リクルート中である。

修士課程の高度実践家養成に関し、どういう人材育成を目指すか、社会の動きと本学の目的とを考え合わせて、模索中である。

次年度より周麻酔期看護学を開講することを決定したが、展開方法は実施しながらの模索となる。

社会人学生数が増加しないため、昨年度調査集約した社会人学生の意見に基づき、その学習環境の改善策を討議したが、よい策がまだ見つかっていない。